

特集 可児市のじまん“一五一会”^{いちごいちえ}

「一五一会可児市大会」開催記念インタビュー

BEGINとヤイリギターで作った可児市生まれの楽器“一五一会”。
比嘉栄昇さんと矢入賀光さんに一五一会について語っていただきました。

Interview

BEGIN

Vo. 比嘉 栄昇さん

Guest

(株)ヤイリギター
社長 矢入 賀光さん

比嘉栄昇さん

撮影／中野健太

一五一会でつながっている
から仲間みたいな、そんな
近さってあると思う

一五一会の誕生エピソードや思いを聞かせてください。

比嘉 僕は石垣島で生まれ育ったこともあり、三線（沖縄の伝統的な弦楽器）が近くにある中でギターを弾いていました。ある時、田端義夫さんという、島唄を全国区にした大物歌手のために歌を作ることになりました。ギターで作ろうか、島唄っぽいものになろうか悩み、ギター持って三線持っての繰り返しを多分3カ月ぐらいしていました。良い歌を作りたいというプレッシャーも相まって、だんだんとおかしくなりまして（笑）。悩んで追い詰められた時、「あ、ギターの弦を4本にして三線のチューニングにすればいいじゃないか」と思い付いたのが一五一会誕生の瞬間です。思い付いてすぐ、分かってもらえないかもしれないけど、何回も通って説明すれば分かってもらえると信じて、当時ヤイリギターの社長だった矢入一男さんを訪ねました。そうしたら、「分かった、若いもんでやってみいや」と言ってくれたんです。扉が開いた感じがものすごくしました。完成したときには社長が、「やつと『メイドインジャパン』として胸を張れる楽器ができた」と言ってくれました。この楽器を作るイメージもアイデアも全部含めて、日本で生まれた

ものなんだからこれは和楽器なんだというトキメキみたいなものが、僕も社長も共通していたと思います。

一五一会にはどのような特徴があり、どんな存在だと思いますか。

比嘉 一五一会とは一体何だろうと思うたときに、渋谷の忠犬ハチ公が去年生誕100周年というお祝いだったことを思い出しました。ハチ公は、秋田県大館市で生まれて渋谷に来て、亡くなった今は渋谷駅前の銅像となっています。現代ではそこが人々の待ち合わせの場所になり、海外から来た人が列をつくって写真を撮るような場所にもなっています。一五一会は、もしかしたらそれと同じような存在になるのではないかと最近思いました。一五一会は、まだ全国的に知られているわけではないですが、生まれ故郷が可児市ということが、可児市にとってこれから先の未来でもとても大きなものになってほしいと思っています。一五一会の一番の特徴としては、初めての人でも30分あれば弾き語りができるということです。楽器に触れてから演奏できるまでの早さと喜びという面では、世界一優れた楽器だと思います。今はコンピュータやAIで音楽が作られる時代

可児市の皆さんへ一言お願いします。

比嘉 先ほども言いましたが、ハチ公のようなつながりが、将来一五一会のふるさと可児市と僕のふるさと石垣島でもできていて、みんなで一緒になって一五一会を楽しく弾いたり、交流が持てたりしたらいいなと思います。可児市の皆さんも、今は石垣島が遠いと感じるかもしれませんが、一五一会でつながっているから仲間みたいな、そんな近さってあると思っています。近い将来そんなことができればいいなと勝手に期待しています。

取材／可児市

になり、生身の人間ではとても演奏できないような複雑な音楽で溢れています。それはそれで素晴らしいことです。そこには足りないものがあります。上達する喜びや、みんなの前で弾いて歌うドキドキ感など自分だけの喜びを味わえないことです。だからこそ、今の僕の役割は、楽器を弾く喜びを知ってもらい、みんなと喜び合う音楽を守っていくことだと思っています。まさに一五一会はそれができる楽器です。そんな一五一会のふるさと可児市で、一五一会を通して家族や地域の人たちの交流が生まれてくれたらうれしいです。そういった機会を皆さんにつくってもらえたらと思います。そんなことが続けば、きっと渋谷のハチ公のように、世界中から一五一会のふるさとである可児市を訪れてくれるような、そんな未来が見えるような気がします。

一五一会弾きの皆さんとやってみたいことはありますか。

比嘉 変化していく時代の中で、僕には一五一会で弾ける歌作りをする役目があると思っています。だからそこを見失わないように、日本のどこかではなく、日本の歌だと思える歌、可児市でこれは自分の歌なんだと思って歌っ

てくれるような歌を僕は作っていきなさいいけないと思っています。このプレッシャーは自分1人では背負い切れないので、手伝ってくれる一五一会弾きの皆さんにそういう歌をぜひ作ってもらいたいです。千曲もあれば1曲はそういう曲があるかもしれない、そのぐらいのものなんです。みんなで楽しみながらやっていきたいです。

子どもたちにも一五一会を知ってほしいという願いのもと、一五一会可児市大会が開催されます。一生忘れないものにしてほしいですね。

比嘉 そうですね。子どもの頃、みんなでこんなことをしたというのは、忘れられない。



矢入賀光さん

(株)ヤイリギターとは…

下恵土にあるアコースティックギターの製造会社です。

創業者の矢入儀市さんが、矢入楽器製作所として楽器作りを始め、後を継いだ一男さんが、アメリカでギター作りを学んだ後、(株)ヤイリギターを設立しました。

一男さんは50年以上にわたってギター作りを続け、平成17年に「現代の名工」として国の表彰を受けています。

みんな一緒に楽しもう♪ 一五一会フェス

期 日 11月2日(土)
場 所 文化創造センター・アーラ

一五一会可児市大会

時 間 10時～13時
場 所 水と緑の広場

1部 可児っ子演奏発表会

夏休みから講座を通して練習してきた可児っ子たちが、一五一会の演奏発表をします。演奏する姿を見に来ませんか。

2部 一五一会自慢

一五一会で可児市を盛り上げよう。演奏発表者を募集します。

参加条件

- 一五一会を使った演奏発表
- 可児市在住・在学・在勤の人

定 員 7チーム(先着順)

参 加 費 無料

申込方法 申込フォーム

申込期間 9月13日(金)～10月18日(金)



申込フォーム



一五一会ワークショップ

初心者も大歓迎です。一五一会を演奏してみませんか。

時 間 13時～15時(各回30分程度)

場 所 水と緑の広場

講 師 (株)ヤイリギター

参 加 費 無料



飲食ブースもあるよ！



【同日開催】第五回一五一会世界大会&BEGINコンサート

全国各地から一五一会弾きが集まります。大会後、BEGINのコンサートが開催されます。

時 間

○一五一会世界大会=14時30分～16時30分

○BEGINコンサート=17時～19時15分

場 所 主劇場

※入場にはチケットが必要です。



詳細はこちら



ベーシック

にらい
音来

かない
奏生

楽器初心者でも楽しめる！
”一五一会”の魅力に迫る
可児市生まれの楽器”一五一会”とは
下恵土に工房を構える(株)ヤイリギターとBEGINが平成14年に一緒に開発した楽器です。
市発行の「可児市のじまん&ほこり」にも掲載されている、可児市ならではの魅力です。

魅力的な特徴

1

4本の弦を指一本で押さえるだけで、誰でも簡単に弾き語りができる

2

楽器に触ったことがなくても、楽譜が読めなくても気軽に挑戦できる

3

弾きながら歌うことがリハビリや音楽療法にも有効で、実際に活用されている

演奏体験をした人が語る魅力



歌いながら弾けるのが楽しい



家族みんな初めてだったけど、ギターほど複雑じゃないから、子どもと一緒に体験できて良かったし、みんなできて楽しかった

一五一会弾き語りサークル紹介

仲間と一緒に一五一会の弾き語りを楽しんでいます。手と口を使うので脳トレにもなりますよ！

ウエスタン♪クラブ

活 動 日

毎月第2・4月曜日

活動時間

19時～21時

活動場所

帷子地区センター



ゆいSOU・SOU

活 動 日

毎月第1～4水曜日

活動時間

19時～21時

活動場所

広見地区センター

